総合企画局総合政策室市民協働推進担当
みんなごとのまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」

市民協働推進コーディネーター活動報告書

2018/04-2018/12

Vol.01
2018(平成 30)年 12 月
京都市総合企画局
総合政策室市民協働推進担当
コーディネーター:牧野杏里

広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集中！ 「まちづくり・お宝バンク」提案一覧

具体的な取組がはじまっています！

取組例 01

駐輪場情報を得て，京都のまちをより快適に楽しみたい！

観光 モバイル

自転車で京都のまちを楽しむ人も増えてきた昨今ですが，「肝心の駐輪場の場所がわからない」「停めようと思ったら満車だった」などの声も。この現状に対し，京都市のオープンデータを活用して，もっと快適に京都のまちを楽しめる情報を提供できないか，という思いのもと，駐輪場検索アプリ「chariP naVi（チャリップナビ）」は開発されました。

取組中

お宝 No.285 京の歴史と街並みをつたえ隊

連携 総合企画局 情報化推進室 建設局 自転車政策推進室

chariP naVi（チャリップナビ）>>>

駐輪場一覧，観光施設情報等の，京都市オープンデータ情報を，地図上に可視化する機能やルート案内機能などを備えたアプリです。

「チャレンジ！オープンガバナンス 2017」で総合賞を受賞（情報化推進室と連携）。お宝バンクに登録し，本格的に京都市役所と連携すべく取組開始。

▼自転車政策推進室や，駐輪場事業者との意見交換が実現

意見交換では，市の施策や，市民サービスの現状，駐輪場運営の課題や展望について，伺うことができました。
また，chariP naVi（チャリップナビ）の概要や，今後目指す活動についても説明し，改良点や今後欲しい機能など，現場の経験に基づく充実した意見を伺うことができました。

駐輪場事業者との，実験的な取組を企画中！

稼働率の低い駐輪場を有効活用することは，市民サービスの向上にもつながり，事業者にもありがたいこと。アプリの周知とともに，駐輪場の込み具合の傾向も情報提供できないか等，サービス向上の取組を企画中です。

取組例 02

結婚式の前撮りマナーを改善して，皆が気持ちよく景観を楽しめる地域でありたい！

景観保全 観光

1976（昭和 51）年，国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されるなど，地域の方のたゆまぬ努力によって良質な街並みを残してきた祇園新橋地区には，現在も多くの観光客が訪れています。
しかし一方で，その魅力的な景観を求めて結婚式等の前撮りが横行し，その撮影マナーの悪さによって，地域全体の雰囲気を損なう事態となり，地域の住民の方は頭を悩ませていました。

取組中

お宝 No.275 祇園新橋景観づくり協議会

▼撮影マナー説明会を開催

昨年度，事業者向け説明会を行い，呼びかけた 60 社中 37 社の参加がありました。

1/18 撮影マナー説明会

▼撮影マナーの新たな取り決めを設定

約半年運用する中で見えた課題を受け，詳細な取り決めを定めた覚書を作成。
事業者と覚書を交わし，協賛金の返礼に計画書のパンフレットを進呈する内容となっています。

8/31 撮影マナー新ルールの説明会

▼撮影事業者会の準備始動！

現在 37 社が協力。うち 6 社が世話人となり、撮影事業者会の設立に向けた準備会が始動。10 月中に新しい腕章の作成が決定しました。

10/4 撮影事業者会準備会

※参考「地域景観づくり協議会」の認定

都市計画局 景観政策課

祇園新橋では，市の「地域景観づくり協議会制度」による認定（組織認定 2017 年 5 月/計画認定 2018 年 8 月）を受けるなど，景観保全へ向けた地域のビジョンや計画を，住民で協議し作成しています。

取組例
03 ヒト本来の子育てである共同養育のできる，子育てしやすい環境をつくりたい！

子育て支援　学識連携

京都大学明和研究室では，ヒトの生存を可能にしてきた子育てとは何か，それに必要な条件とは何かを科学的に明らかにすることで，現代の子育て問題の根幹をはじめて理解することができると考えています。
こうしたアプローチから現場の専門家を支え，ヒトの本来の子育てである共同養育の実現をみなで目指したいと思っており，そのためには，公的機関との連携により，より質の高い育児支援を実現できることもあるのではないか，と考えていました。

実現！

お宝 No.312 京都大学明和研究室

連携　**子ども若者はぐくみ局　育成推進課**

▼育成推進課との意見交換から，アイデアが！
子ども若者はぐくみ局育成推進課との意見交換が実現。保健師さんなど現場の専門家の知識やスキルの向上が，出産前からの育児支援の充実につながるのでは，という話に至り，研修会での連携のアイデアが持ち上がりました。

〈育成推進課×明和研究室・連携企画〉
11/12（月）「母子保健業務説明会」
「最新科学でひも解く親と子どもの脳と心の発達
―子どもが育つ・親も育つ」（第 2 部：80 分）

▼明和政子教授の登壇が実現！
科学的な根拠に基づいた，親と子どもの脳と心の発達のメカニズムに関する講演が実現。「行動にはそういう意味があったのか」など，子どもの反応の意味が理解できる内容で，今後の育児支援に活かせると，現場の専門家にも好評の会となりました。

明和教授の研究をもとに，2016 年 1 月に NHK スペシャル「ママたちが非常事態！？」が放映。多くの反響を受け第二弾が放映されるなど，共同養育は，近年注目を集めています。子育て分野の研究も日々進んでいます。

取組の，“さらなる”チャレンジも進んでいます！

取組例
04 講座修了生が継続的に交流でき，互いに学びあえる人材ネットワークをつくりたい！

高齢者福祉　医療研究

「自助力の育成」「共助力の再生」を地域で実践できる人材を育てるため，「くらしの学び庵」では，医学をはじめ，企業，行政などさまざまな分野の専門家を招いた連続講座を開催し，これまでに 100 名を超える初級修了生を輩出してきました。講座が軌道に乗る一方，修了生が実際の地域で学習を実践するにつれ，現場で感じる課題や疑問を共有できる場の必要性を感じ始めていました。

実施予定

お宝 No.131 京都大学こころの未来研究センター（「くらしの学び庵」）

▼連続講座「くらしの学び庵」を開催
3 ヶ月ワンセットの講義形式で，初級は講義中心，中級は意見交換や演習を取り入れて実施しています。外科医，銀行員，行政職員等，現場を知る講師が多数登壇。

▼今後は知識を習得した修了生の実践的な活動が鍵
今後は，習得した知識を，具体的な現場で実践していくことで，自助，共助の環境が広がっていきます。そのために，既存の講座の改良や，修了生のケアが今後の課題のひとつになっていきます。

修了生同士の「同窓会」を検討中
修了生同士が，実際に現場に出た経験を意見交換する機会をつくり，つながりを深めることで，学習しただけで終わらない，継続的なスキルアップが実現できるのではないか，と企画中。
活動を継続するしくみづくりは，どんな活動団体も直面する課題。実現すれば，参考になる試みのひとつになるかもしれません。

その他，社会的に関心の高いテーマの提案も増えています！

団体例

例えば「教育」「防災」「環境」など，近年社会的に関心の高いテーマの提案も増えています。

起業教育　地域活性	「商店街の活性化イベントを，子どもたちが企画」	お宝 No.287 アントレプレナーシップ開発センター
食育　環境　農業振興	「農作業を通して，自然のありがたさを体感」	お宝 No.292 キッズファーム in 大原
防災　コミュニティ	「非常食を調理して，楽しく減災知識を身に付ける」	お宝 No.243 減災カフェ/チーム KUSABI

□お宝バンクの取組提案に興味をもたれた地域の方，事業者の方，関連部署の方
□行政や事業者の方とのつながりを模索中の市民の方，連携の可能性を一緒に考えます。お気軽にご連絡下さい！